

1 4 線形空間概要

- 1 4. 1 線形空間
- 1 4. 2 線形空間の例

1 4. 1 線形空間

線形空間

線形空間の基礎体* (係数体)	K
線形空間の基礎体の実数	K = R
線形空間の基礎体の複素数	K = C
集合	V
集合の要素	$x : x \in V$
集合の要素部分集合	$W : W \subset V$

*体、基礎体等についてはこれ以上述べない

* 線形空間の性質

集合 V において、①、②が定義され、1) から8)の性質が成立するとき V は K 上の線形空間である。

① 和の定義 $x+y \in V, \quad \text{for } x \in V, y \in V$

② 積の定義 $\alpha x \in V, \quad \text{for } \alpha \in K, x \in V$

以下、 $\text{for } x, y, z \in V \text{ and } \alpha, \beta \in K$

1) 交換法則 $x+y = y+x$

2) 結合法則1 $(x+y)+z = x+(y+z)$

3) 零元の存在 $x+0 = x$ (ただ一つの0)

4) 逆元の存在 $\forall x \quad x+y=0 \quad \exists y \in V$ (ただ一つの y)

5) 分配法則1 $(\alpha+\beta)x = \alpha x + \beta x$

6) 分配法則2 $\alpha(x+y) = \alpha x + \alpha y$

7) 結合法則2 $(\alpha\beta)x = \alpha(\beta x)$

8) 単位元の存在 $1x = x$

* 線形部分空間

K 上の線形空間 V の部分集合 W が空集合でなく、次の二つの条件を満たせとき、 W は V の線形部分空間という。

① $x \in W, y \in W \Rightarrow x+y \in W$

② $\alpha \in K, x \in W \Rightarrow \alpha x \in W$

定理 1. 1 : K 上の線形部分空間 V の部分集合 W は K 上の線形空間である。

⇒ 証明 (Wが線形空間の性質を満たすこと)

零元 : $1x = (1+0)x = 1x+0x, \quad \therefore 0x = 0$

逆元 : $1x + (-1)x = (1+(-1))x = 0x = 0,$

$\therefore x + (-1)x = 1x + (-1)x = 0, \quad \therefore (-1)x = -x$

問題 1. 1 : $\alpha \mathbf{0} = \mathbf{0}$

$$\alpha \mathbf{0} = \alpha(\mathbf{0} + \mathbf{0}) = \alpha \mathbf{0} + \alpha \mathbf{0} \quad \therefore \alpha \mathbf{0} = \mathbf{0}$$

問題 1. 2 : $\forall \mathbf{x}, \forall \mathbf{y} \in V$ について

$\mathbf{x} + \mathbf{z} = \mathbf{y}$ となる \mathbf{z} がただ一つ存在する

$$-\mathbf{x} + (\mathbf{x} + \mathbf{z}) = -\mathbf{x} + \mathbf{y}$$

$$\therefore (-\mathbf{x} + \mathbf{x}) + \mathbf{z} = -\mathbf{x} + \mathbf{y}$$

$$\therefore \mathbf{z} = -\mathbf{x} + \mathbf{y} \in V$$

問題 1. 3 : 線形部分空間は $\mathbf{0}$ を含む。

for \mathbf{x}

$$\mathbf{x} + \mathbf{0} = \mathbf{x}$$

例題 1. 2 : 有限個の要素で張られる空間

\mathbf{K} 上の線形空間 V の要素 $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \dots, \mathbf{a}_n$ に対して

$$\mathbf{K}\langle \mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \dots, \mathbf{a}_n \rangle = \{ \alpha_1 \mathbf{a}_1 + \alpha_2 \mathbf{a}_2 + \dots + \alpha_n \mathbf{a}_n : \alpha_1 \in \mathbf{K}, \dots, \alpha_n \in \mathbf{K} \}$$

は線形部分空間である。また、このとき $\mathbf{K}\langle \mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \dots, \mathbf{a}_n \rangle$

は、 $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \dots, \mathbf{a}_n$ で張られる線形部分空間という。

$$\mathbf{x} = \alpha_1 \mathbf{a}_1 + \dots + \alpha_n \mathbf{a}_n \quad \alpha_1, \dots, \alpha_n \in \mathbf{K}$$

$$\mathbf{y} = \beta_1 \mathbf{a}_1 + \dots + \beta_n \mathbf{a}_n \quad \beta_1, \dots, \beta_n \in \mathbf{K}$$

$$\Rightarrow \mathbf{x}, \mathbf{y} \in \mathbf{K}\langle \mathbf{a}_1, \dots, \mathbf{a}_n \rangle$$

$$\mathbf{x} + \mathbf{y} = (\alpha_1 + \beta_1) \mathbf{a}_1 + \dots + (\alpha_n + \beta_n) \mathbf{a}_n$$

$$\alpha \mathbf{x} = (\alpha \alpha_1) \mathbf{a}_1 + \dots + (\alpha \alpha_n) \mathbf{a}_n$$

$$\therefore \mathbf{x} + \mathbf{y}, \alpha \mathbf{x} \in \mathbf{K}\langle \mathbf{a}_1, \dots, \mathbf{a}_n \rangle$$

したがって、 $\mathbf{K}\langle \mathbf{a}_1, \dots, \mathbf{a}_n \rangle$ は線形部分空間である。

問題 1. 4 :

空間ベクトル $\mathbf{a}_1 = \begin{pmatrix} 1 \\ 2 \\ 3 \end{pmatrix}$, $\mathbf{a}_2 = \begin{pmatrix} 2 \\ 3 \\ 4 \end{pmatrix}$, $\mathbf{a}_3 = \begin{pmatrix} 4 \\ 7 \\ 10 \end{pmatrix}$ に対して

① $\mathbf{R}\langle \mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2 \rangle$ はこの空間における平面上のベクトル

全体を表す。この平面の方程式を求めよ。

$ax + by + cz = 0$: 平面の方程式

$$a + 2b + 3c = 0$$

$$2a + 3b + 4c = 0$$

$$\therefore b = -2c, a = c \Rightarrow x - 2y + z = 0$$

② $\mathbf{a}_3 \in \mathbf{R}\langle \mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2 \rangle$ を示せ。

$$\mathbf{a}_3 = 2\mathbf{a}_1 + \mathbf{a}_2$$

③ $\mathbf{R}\langle \mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2 \rangle = \mathbf{R}\langle \mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3 \rangle$ を示せ。

\mathbf{a}_3 は \mathbf{a}_1 と \mathbf{a}_2 の線形結合だから。

14.2 線形空間の例

* 行列の作る線形空間

$M_{m,n}(\mathbf{K})$: \mathbf{K} の要素からなる (m, n) 行列の全体: \mathbf{K} 上の線形空間

$M_{m,n}(\mathbf{R})$: 実数からなる (m, n) 行列の全体: \mathbf{R} 上の線形空間

$M_{m,n}(\mathbf{C})$: \mathbf{C} の要素からなる (m, n) 行列の全体: \mathbf{C} 上の線形空間

* ベクトルの作る線形空間

\mathbf{K}^n : \mathbf{K} の要素からなる n 次列ベクトルの全体: \mathbf{K} 上の線形空間

\mathbf{R}^n : n 次実列ベクトルの全体: \mathbf{R} 上の線形空間

\mathbf{C}^n : n 次複素列ベクトルの全体: \mathbf{R} 上の線形空間

\mathbf{C}^n : n 次複素列ベクトルの全体: \mathbf{C} 上の線形空間

* 関数の作る線形空間

$F(0,1)$: 実数値区間 $(0, 1)$ で定義された実数値関数全体: \mathbf{R} 上の線形空間

$C(0,1)$: \sim 全 \sim 実数値連続関数の全体: \mathbf{R} 上の線形空間

$C^1(0,1)$: \sim 全 \sim 実数値連続微分可能な関数全体: \mathbf{R} 上の線形空間

$$C^1(0,1) \subset C(0,1) \subset F(0,1)$$

例題 2. 1 : 線形部分空間の例

次の \mathbf{R}^3 の部分集合は \mathbf{R}^3 の線形部分空間かどうか調べよ。

$$(1) \quad W_1 = \{\mathbf{x} : x_1 + x_2 + x_3 = 0\}$$

$$(2) \quad W_2 = \{\mathbf{x} : x_1 + x_2 + x_3 = 1\}$$

$$\mathbf{x} = {}^t[x_1 \ x_2 \ x_3], \mathbf{y} = {}^t[y_1 \ y_2 \ y_3] \in W_1$$

$$x_1 + x_2 + x_3 = 0, \quad y_1 + y_2 + y_3 = 0$$

$$\therefore (x_1 + y_1) + (x_2 + y_2) + (x_3 + y_3) = 0$$

$$\therefore \mathbf{x} + \mathbf{y} \in W_1$$

$$(\alpha x_1) + (\alpha x_2) + (\alpha x_3) = \alpha(x_1 + x_2 + x_3) = 0$$

$$\therefore \alpha \mathbf{x} \in W_1$$

W_1 は \mathbf{R}^3 の線形部分空間である。

$$\mathbf{x} = {}^t[1 \ 0 \ 0] \in W_2$$

$$2\mathbf{x} = {}^t[2 \ 0 \ 0] \notin W_2$$

W_2 は \mathbf{R}^3 の線形部分空間でない。

問題 2. 1 :

次の集合は \mathbf{R}^3 の線形部分空間かどうか調べよ。

$$(1) \quad W_1 = \{\mathbf{x} : x_1 = 0\}$$

$$(2) \quad W_2 = \{\mathbf{x} : x_1 > 0\}$$

$$\mathbf{x} = {}^t[0 \ x_2 \ x_3], \quad \mathbf{y} = {}^t[0 \ y_2 \ y_3] \in W_1$$

$$\mathbf{x} + \mathbf{y} = {}^t[0 \ x_2 + y_2 \ x_3 + y_3] \in W_1$$

W_1 は \mathbf{R}^3 の線形部分空間である。

$$\mathbf{x} \in W_1 \rightarrow x_1 > 0$$

$$\alpha < 0 \quad \alpha x_1 < 0$$

$$\therefore \alpha \mathbf{x} \notin W_2$$

W_2 は \mathbf{R}^3 の線形部分空間でない。

15. まとめ

- 1 授業概要、数と集合
- 2 行列とその基本演算1：行列の和と積
- 3 行列とその基本演算2：その他の演算
- 4 行列とベクトル
- 5 行列の応用
- 6 連立一次方程式1：基本概念
- 7 連立一次方程式2：基本変形
- 8 連立一次方程式3：具体的解法
- 9 行列式：順列と行列式
- 10 行列式と差積
- 11 行列式の基本的性質
- 12 余因子と逆行列
- 13 行列計算法
- 14 線形空間概要

(1) 数と集合

■集合と写像

集合、要素、要素についての条件

部分集合、空集合

和集合、共通部分 (関集合)

写像 (対応、関数)、定義域、値域、像

■実数

自然数、整数、有理数、無理数

数学的帰納法

■複素数

複素数の定義と演算

絶対値、極形式表現

(2) 行列とその基本演算 1 : 行列の和と積

- 行列の定義

 - 行、列

 - 実行列、複素行列

- 行列の演算

 - 行列の和、行列の差、行列と数の積

 - 零行列、逆元

 - 交換法則、結合法則 (2種)、分配法則 (2種)

 - 零行列、逆元、単位元

(3) 行列とその基本演算 2 : その他の演算

- 行列の積

 - 定義、行列とグラフ

- 和の順序の交換

- 積に関する基本定理

 - 分配法則、結合法則、交換法則

 - 単位行列

(4) 行列とベクトル

- 転置行列

 - 定義、実正方行列、対称行列、交代行列

- 行ベクトル、列ベクトル

(5) 行列の応用

- 行列の分割

行列の分割、小行列

- 行列の応用例

ハンガリー法、確率と行列

(6) 連立一次方程式 1 : 基本概念

- 連立一次方程式

掃き出し法

ガウスの消去法

- 連立一次方程式の解法

行列の基本変形

同値である連立一次方程式

ランク

(7) 連立一次方程式 2 : 基本変形

- 基本変形の行列

- 連立一次方程式の解法 (解が無数にある時)

(8) 連立一次方程式 3 : 具体的解法

- 連立一次方程式の解法 (解がない時)

- 文字を含む方程式

- データ当てはめ

(9) 行列式 : 順列と行列式

- 順列

- n 次の順列

- 順列と置換

- 転倒数

- 行列式

- 定義、行列式と連立一次方程式の解

- サラスの方法

(10) 行列式と差積

- 差積

- 定義

- アミダクジと順列

(11) 行列式の基本的性質

- 行列式の基本的性質

- 転置行列の行列式

- 行列式の線形性

- 行または列の入れ替え、基本変形と行列式

- 行列式計算法

- 行列式の展開、行列式の因数分解

(1 2) 余因子と逆行列

- 余因子

 - 余因子、余因子行列

- 逆行列

 - 正則、逆行列

 - 分割行列の逆行列

(1 3) 行列計算法

- クラメルの公式

- 掃き出し法による逆行列計算

(1 4) 線形空間概要

- 線形空間

 - 線形空間

 - 線形空間の性質

 - 線形部分空間

- 線形空間の例

 - 行列の作る線形空間

 - ベクトルの作る線形空間

 - 関数の作る線形空間